

◆ 研究分野	・応用獣医学
◆ キーワード	・人獣共通感染症 ・食中毒起因菌
◆ 産業界での応用の可能性等	・人獣共通感染症または食中毒菌起因菌等の迅速検出法または同定法の開発に応用できる。
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	・人獣共通感染症 ・食中毒起因菌等の病原遺伝子の検出
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	・P2レベルの実験室 ・サーマルサイクラー ・PFGE 装置
◆ 関連の知的財産等	
◆ 所属学会	・日本獣医学会 ・獣疫学会 ・人と動物の共通感染症研究会 ・日本食品衛生学会

研究紹介（概要）

人獣共通感染症起因菌等の housekeeping 遺伝子等の解析および疫学的研究

現在、人獣共通感染症や食中毒起因菌の菌株の識別や感染ルートの解明には、再現性および識別能が最も高いとされるパルスフィールド電気泳動法（PFGE）が用いられている。

しかし、PFGE は実験操作が煩雑であり、プラグ作製から電気泳動パターンの解析までに長い時間を要する。また、泳動パターンのバンドの濃淡や研究者の比較基準の差異により、得られたデータの比較が困難であることも指摘されている。

一方、DNA の塩基配列による菌株の比較は研究者の主観等に左右されない。さらに、ここ数年の DNA シークエンサーの解析能力の向上およびコストの低下により、この手法が日常的に使用可能になってきている。

本研究は、人獣共通感染症起因菌等の housekeeping 遺伝子配列の解析を行い、特定の菌の検出や菌種の同定法ならびに菌株の識別法等の開発が目的である。

社会、産業界への PR

我々の研究室では、人獣共通感染症や食中毒起因菌の分離・同定および疫学調査、ならびにこれら病原細菌の新たな検出法や菌種の同定法等の開発および分子疫学解析法について研究を行っています。

職名	講師		
氏名	岡谷 友三 アレシヤンドレ		
ローマ字	Alexandre T. Okatani	学位	博士(獣医学)
所属学部等	獣医学部	所属学科等	獣医学科
所属研究室等	公衆衛生学第二研究室	URL	http://www.azabu-u.ac.jp/ve/vet/lab_25.html